



一般社団法人 福岡県建築士事務所協会

TEL:092-473-7673 FAX:092-473-7278

<https://www.f-aa.jp> E-mail : info@f-aa.jp

目次 -Contents-

1	福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告	2
2	建築士事務所キャンペーン2023 開催報告	10
3	会議のご報告	12
4	令和4年度 日事連九州・沖縄ブロック協議会令和4年度第1回会長会議報告	17
5	建築倶楽部BIM推進協議会令和4年度総会関係報告	18
6	表彰関係	19
7	各支部・地域会よりお知らせ	20
8	会員動静	24
9	役員さんの徒然雑記	25

1

福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告

令和4年度 福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。今年は高等学校の部6校より計64作品、専門学校部の部4校より計86作品のご応募を頂き、審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式が11月15日に行われました。

また令和5年1月16日～1月20日には福岡市役所 1 階市民ロビーにおいて作品の展示会を開催致しました。

経 過

令和4年 6月 6日……………関係校へ課題を通知、応募期限を9月30日とする。
 9月30日……………提出校、高等学校の部6校64作品、専門学校部の部4校86作品。
 10月 5日……………応募作品の課題条件の適合について予備審査を実施。
 10月17日……………審査員が集合し本審査を開催。得点方式にて受賞候補作品を選出し、議論を重ねた結果各賞が決定。
 11月15日……………福岡県弁護士会館において表彰式を開催。また同会場にて作品展示会を開催。
 令和5年 1月16日～1月20日……………福岡市役所1階市民ロビーにおいて作品展示会を開催。

審査委員名

●【審査委員長】西岡 弘（西日本工業大学建築学科 客員教授）
 ●福岡県建築都市部長 ●福岡県教育長 ●北九州市建築都市局長 ●福岡市住宅都市局長、
 ●（一財）福岡県建築住宅センター理事長 ●（公社）福岡県建築士会会長 ●（公社）日本建築家協会九州支部長
 ●（一社）福岡県建築士事務所協会会長 ●（一社）福岡県建築士事務所協会教育・研修委員会

協 賛

●（一財）福岡県建築住宅センター

後 援

●福岡県 ●福岡県教育委員会 ●北九州市 ●福岡市
 ●（公社）福岡県建築士会 ●（公社）日本建築家協会九州支部

参加者の皆さまへの御礼

令和4年度建築設計競技の応募数は高等学校の部で64作品、専門学校部の部で86作品と多数のご応募をいただき、主催者側を代表いたしまして皆様に心より御礼申し上げます。

今年度は「遊び」を共通テーマに、高等学校の部では「住まい」、専門学校部の部では「子育て支援センター」とそれぞれ家庭 社会の中で遊ぶ場所（空間）を提供する建築物をどのようなアプローチで表現されるのを楽しみにしておりましたが、応募作品は個性溢れる多種多様な作品ばかりで、学生の皆様の建築に対する熱量の大きさを肌で感じた見応えのある審査会を開催出来ました。

これもひとえに学生の皆様の日々の努力の賜物であり、先生方の熱心なご指導の賜物であると深く感謝申し上げますとともに、来年度以降も引き続き建築設計競技にご協力賜りますよう宜しくお願いいたします。

最後に課題作成等多岐にわたりご協力頂きました西岡審査委員長をはじめ、ご支援いただきました関係諸庁、各団体の皆様に心より御礼申し上げます。

（一社）福岡県建築士事務所協会 教育・研修委員会
 委員長 岸本 章宏

計画趣旨

「遊び」は文化の本質であるとする文人や学者の多くの論考があり、仏の教えにも遊戯三昧(ゆげざんまい)とあるように根源的な概念ですが、ここではそこまで深く掘り下げなくても遊び自体が大事である卑近な例を挙げると、例えば車のハンドルやブレーキに遊びがないと運転しにくく危険ですらあります。又、伝統的な神社仏閣が地震や台風に耐えられたのも接合部に遊びがあるからです。日々の生活の各シーンで遊びがなければ窮屈になります。むしろ今回の課題では、一般論としての遊びの意味を背景に持ちつつも子供の遊びとした方が論点の拡散を防ぎ焦点が絞られ取り組み易いかもしれません。

原っぱ、空き地等住宅地での自発的遊び場が消失して随分と時が経ちます。経済成長と税法改変が空き地で放置しておく事を難しくしたからです。又、車社会はかつて遊び空間だった道路の在り方を変えました。街区公園、近隣公園と言った一定の距離、広さ、一定の遊具を設置したお仕着せの公園は、規格化人間の養成に一定の役割を果たしたかもしれません。スマホ画面から片時も目を放さない若者、ゲーム機での遊びなどヴァーチャルな虚構の世界での遊びは、仲間との遊びを作らなくなったあるいは作るきっかけを見失ったとも言えます。直接相手と接しながら得られる観察力、注意力、抵抗力を失った若者の中には、ネットなどによる残念な事故が後を絶ちません。

子供の遊びを考察するにあたっての基本的要素は時間・場所・仲間の三つですが、このうち時間と仲間については検討しつつも場所の要素に言及する事が今回の設計課題の主題である事は言うまでもありません。場所の条件の中で高等学校では家庭という生活空間、専門学校では学校と家庭の間にある遊び空間としての施設を対象としています。遊びや楽しみを機能的に分類すると1) 視る(聴覚、嗅覚をも含む)2) 行動する(触れるを含む)3) 休む(飲食一味覚を含む)の三つに大別でき、基本的には五感を働かせる行為という事になります。子供の遊びはこの三つが混在していると言ってよいでしょう。

20年に満たないかろうじて生徒の領域にある応募者諸君が過ごしてきた遊びの世界と、出題者、審査員など大人側の心に堆積している幼少期の遊びの記憶とのずれの中にこそ新たな多層的な遊びの空間の出現の糸口があるかもしれません。現代を生きる中でただノスタルジックに過去の遊びを振り返るだけでは説得力を持ちません。一心不乱に我を忘れて遊ぶ対象そのものは年齢の違いによって異なりますが、現実の世界から無私の境地に遊離する状態は、時間軸と年齢を問わず同質のもので遊びの本質がそこにあります。アナログからデジタル、触覚から視覚偏重、実像から虚像、自然から人工など多くが激変する時代そのものを子供として通過してきた君達自身の遊びへの思考応答そして痕跡を問う課題でもあります。

計画対象年齢は文科省が定める呼称で幼稚園一園児、小学生一児童、中学高校生一生徒及び保護者とセットで幼児迄としますが、ある程度対象を絞り込む事も必要かもしれません。



計画趣旨

歴史学者の会田雄次がアメリカで調査した結果として述べているのですが、使い道のはっきりしない部屋がたくさんある家の子に発想力の豊かな子が育っていると言っています。必ずしも多くの部屋や蔵や地下室がなくてもいろいろなシーンによる幼児体験は発想の井戸を豊かにするでしょう。現代の多くの商品化住宅のように経済性と機能的合理性によって作られたクローン住宅には個性も空間も感じられません。フラットな天井に比べて斜めの天井や吹き抜け空間が豊かな空間を作る事は多くが知る所です。

住まいの在り方は幼児の情操教育に大きく影響します。それには説明付きの表向きの機能だけでなく、親が想像しないような遊びを誘発する仕掛け空間を用意する事かもしれません。部屋に一本独立柱があるだけで生活の中に新たな意味を発生します。庭に木登りができる樹が一本あるだけで随分違うでしょう。既成概念から脱却し庭も含めて豊かな子育てのできる住まいの環境を求めます。



計画条件

■ 1) 敷 地

- 面 積……………概ね300㎡以内（目測程度の精度で良い）。
- 用途地域……………指定なし。
自身が住まう近隣適地（自宅も可）を選ぶ事。
- 接道条件……………幅4m以上の公道に2m以上接している事。
- そ の 他 …………その他 建物は隣地境界線から1m以上離す事。
駐車スペースは、有無も含めて適宜判断で良い。

■ 2) 建 物

- 面 積……………延床面積150㎡以内
- 構 造……………自由、3階建て以下
- そ の 他 …………建蔽率、容積率については特に問わない。その他の法規制は適用しない。

■ 3) 提出図面

- 用 紙……………当協会配布のケント紙（B2サイズ）一枚を使用し横使いとするが、サイズが同じであれば応募者で準備した用紙でも可。
- 提出内容……………**設計主旨** 課題にふさわしいイメージを膨らませるタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現する事。（タイトル文字は必要以上に目立たせる事はない。何が表現として重要かを考える事。）
- **配置図** 縮尺は問わないが、計画地がどれだけの面積を利用し、どのように公道に面しているかが判るような図として提出の事。
- **平面図** (1/100～1/200)
- **立面図** (1/100～1/200)
- **断面図** (1/100～1/200) 平面図に断面箇所を記入の事。

※上記縮尺は原則であり、設計建物の建築面積などから所定用紙に合わせて縮尺を変えて良い。

- ・ 外観パース（模型写真を添付する事は可とするがパースに代替することは不可。）
- ・ 設定敷地が判る地図及び周辺も含めた敷地写真を添付の事。航空測量写真やパンフレットなど他媒体からの写真は不可。必ず周辺環境が判るように自身が撮影し、現地を視察する事。（敢えてこれに言及するのは、建築が他のデザイン領域と異なり地面に固定されているという事です。それ故建築は敷地環境から多くの影響を受け、また影響も与えアイデアもそこから多く生まれるからです。）

※手書き図面の場合、写真は敷地写真、模型写真も含め画像をパソコンに取り込み普通紙でプリントアウトしたものを貼る事が望ましい。写真の厚みのある光沢印画紙ではそれだけが表現上浮いてしまうからです。

- 条 件……………必ず手書きとする。CGは不可、但し文字数字については、印字シート貼り等可とする。模型写真の添付や着色は自由。図面には面積表（必ずしも枠取りする必要なし）、方位、縮尺、寸法及び寸法引き出し線、室名を正しく記入する事。
※与条件は必ず守る事。与条件以外は自由に判断する事。



計画趣旨

屋外遊具の中では調査によるとコンビネーションインブルメント、いわゆるヒューム管や盛り土によるクライミングスライダーなどの複合した施設に人気があるようで計画の手掛かりになりそうです。大人側の論理や不測の事故等への過剰な責任追及を回避しての事なかれ主義によって作られた遊びの環境から、より児童の自主的創造性にゆだねた空間、自由で変容に対して対応できる空間を用意する事が求められているのではないのでしょうか。人間形成としての遊びの空間、次なる世代への脱皮のための自己研鑽の場としての遊び空間を求めるものです。

遊び空間は放置しておいても子供は遊びを作り出していくという意見もありますが、その放置によって仲間意識の変質や、健康面、精神面での発達に阻害されあるいは歪んだ発達により幾多の問題が引き起こされている事実には対処していかなねばなりません。従って想像的刺激に富んだ遊びの空間をどう創っていくかは大事な課題であります。遊びについては考えていくほどに深淵で哲学的論考や日本の社会が抱えるシリアスな問題へと言及せざるを得なくなりますが、この計画においては君達自身が遊びについてどう捉えるかが大事な事は言うまでもありません。

厚労省による「児童館ガイドライン」を参考に小型児童館の内容を含んだ一般児童センター的施設とします。一般児童センターは延床面積336、6㎡以上ですが、今計画では上限を設定します（児童館、子供プラザ等検索して一般的機能は調べて参考にして下さい。）

計画条件

■ 1) 敷 地

- 面 積……………自身が住まう近隣の比較的広い敷地を持つ公民館敷地程度とし（およそ1000㎡以内）あるいは居住地域内の同程度の面積の適地を選び計画する。
- 用途地域……………指定なし。
- 接道条件……………幅6m以上の公道に4m以上接している事。
- そ の 他 ……………建物は隣地境界線から2m以上離す事。
上下水道は完備し受電は前面道路から可能と仮定する。敷地の高低差は具体的な選択敷地による。
駐車スペースは管理用として普通乗用車1台、ワゴン車1台を用意する事。

■ 2) 建 物

- 面 積……………延床面積1000㎡以下
- 構 造……………自由、5階建て以下
- そ の 他 ……………建蔽率、容積率については特に問わない。その他の法規制は適用しない。

■ 3) 提出図面

- 用 紙……………当協会配布のケント紙（B2サイズ）一枚を使用し横使いとするが、サイズが同じであれば応募者で準備した用紙でも可。
- 提出内容……………**設計主旨** 課題にふさわしいイメージを膨らませるタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現する事。（タイトル文字は必要以上に目立たせる事はない。何が表現として重要かを考える事。）
 - ・ **配置図** 縮尺は問わないが、計画地がどれだけの面積を利用し、どのように公道に面しているかが判るような図として提出の事。
 - ・ **平面図** (1/200～1/300)
 - ・ **立面図** (1/200～1/300)
 - ・ **断面図** (1/200～1/300) 平面図に断面箇所を記入の事

※上記縮尺は原則であり、設計建物の建築面積などから所定用紙に合わせて縮尺を変えて良い。

- ・ 外観パース（CG、模型写真に代える事も可。）
（通り側から見たアングル等コンセプトが判るように。）

・ 設定敷地が判る地図及び周辺も含めた敷地写真を添付の事。航空測量写真やパンフレットなど他媒体からの写真は不可。必ず周辺環境が判るように自身が撮影し、現地を視察する事。（敢えてこれに言及するのは、建築が他のデザイン領域と異なり地面に固定されているという事です。それ故建築は敷地環境から多くの影響を受け、また影響も与えアイデアもそこから多く生まれるからです。）

※手書き図面の場合、写真は敷地写真、模型写真も含め画像をパソコンに取り込み普通紙でプリントアウトしたものを貼る事が望ましい。写真の厚みのある光沢印画紙ではそれだけが表現上浮いてしまうからです。

- 条 件……………CGも可とする。模型写真の添付や着色は自由、図面には面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引き出し線、室名を正しく記入する事。

※与条件は必ず守る事。与条件以外の事は自由に判断する事。

応募総数・入選者一覧

高等学校の部

応募校と 応募数

有明工業高等専門学校（1年～3年）	作品数	43作品
浮羽工業高等学校	"	4作品
田川科学技術高等学校	"	2作品
戸畑工業高等学校	"	3作品
博多工業高等学校	"	7作品
福岡工業高等学校	"	5作品
計 6校		64作品

個人賞

●知事賞	有明工業高等専門学校	3年	大津 結花	
●福岡県教育委員会賞	浮羽工業高等学校	3年	宮本 蓮	
●（一財）福岡県建築住宅センター理事長賞	有明工業高等専門学校	3年	石間伏 萌花	
●会長賞	有明工業高等専門学校	3年	宮崎 悠人	
●（公社）福岡県建築士会会長賞	有明工業高等専門学校	3年	矢野 琉星	
●（公社）日本建築家協会九州支部支部長賞	戸畑工業高等学校	3年	橋本 佳也	
●優秀賞	福岡工業高等学校	3年	松尾 有沙	
●佳作	博多工業高等学校	3年	桑田 廉土	
●佳作	田川科学技術高等学校	3年	堤 凜音南	
●佳作	有明工業高等専門学校	3年	福澤 寧々	
●佳作	有明工業高等専門学校	3年	前田 心音	
●奨励賞	博多工業高等学校	3年	菅 風	
●奨励賞	有明工業高等専門学校	3年	児玉 蓮	
●奨励賞	有明工業高等専門学校	3年	佐藤 七海	
●奨励賞	有明工業高等専門学校	3年	藤岡 匠	

※敬称略/順不同

団体賞

有明工業高等専門学校

専門学校の部

応募校と 応募数

麻生建築&デザイン専門学校	作品数	68作品
九州職業能力開発大学校	"	6作品
福岡建設専門学校	"	7作品
福岡デザイン専門学校	"	5作品
計 4校		86作品

個人賞

●知事賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	前田 優一	
●福岡県教育委員会賞	麻生建築&デザイン専門学校	1年	内田 暖望	
●（一財）福岡県建築住宅センター理事長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	本永 一真	
●会長賞	福岡建設専門学校	1年	東 愛子	
●（公社）福岡県建築士会会長賞	麻生建築&デザイン専門学校	1年	亀津 侑治	
●（公社）日本建築家協会九州支部支部長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	福元 里莉奈	
●優秀賞	福岡建設専門学校	2年	大津 直子	
●佳作	麻生建築&デザイン専門学校	2年	坪根 望実	
●佳作	福岡デザイン専門学校	2年	中満 美乃里	
●佳作	麻生建築&デザイン専門学校	2年	瀧本 明利	
●佳作	麻生建築&デザイン専門学校	2年	前原 るい	
●佳作	麻生建築&デザイン専門学校	1年	小崎 歩美	
●佳作	麻生建築&デザイン専門学校	1年	高橋 杏	
●奨励賞	福岡建設専門学校	2年	坂井 力	
●奨励賞	九州職業能力開発大学校	2年	田中 大翔	
●奨励賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	安藤 直希	

※敬称略/順不同

団体賞

麻生建築&デザイン専門学校

共通テーマ 『遊び』

高等学校の部 課題：『子育て空間の豊かな住まいの計画』

専門学校の部 課題：『広く遊びを誘発する地域施設—子育て支援センター—』

今年度も制作過程ではまだコロナ禍の心配が続いており先生方のご指導にあたっても制約があったのではと推測いたします。そのような環境下にも関わらず沢山のご応募をいただき厚く御礼申し上げます。今年度の共通テーマは「遊び」でした。私が課題制作を担当する事になってから時代性、社会性等も考慮しつつ熟考し共通テーマを掲げる形で出題してきました。少し難しいのではというご指摘もありましたが、過去の応募作品集をご覧いただけるとお判りのように、今年の結果を見る限り全体的に随分上達してきたのではと思っています。特に高等学校の部は眼を見張るほど向上しています。少し難しい事に挑戦してこそ力はつくものと確信しております。

建築士の製図試験の課題のようなものとは異なり、専門課程だけでなく広く学習してきた素養を総動員して取り組む課題の出し方を心がけてきましたが、今回の課題は年齢的にも自身に直接絡んでくる事もあるとあって全体にバランスの取れた作品が多く評点が拮抗した結果となりました。ただ、専門学校に多かったのですが、課題の要求事項を見落としていたり違反していたりする作品がありました。減点から冠賞を逃した作品もあり今後もこの点については制作過程で十分注意していただきたいと思います。

高等学校の部 総評

今年は全体的にコンセプトの組み立て、建築化、図面表現にバランスが取れレベルが高かったように思います。残念なのは相変わらず表題がすぐに理解出来ないような造語や難字、英語化したものがいくつか見受けられました。何の事だろうと審査員に文章を読ませる役割は果たしているかもしれませんが、あまりプラスに働くとは思えません。

今までの優秀な作品を参考にしながら良い部分を取り入れ制作している姿勢がよく判り、成果が出ている事を感じ取りました。

専門学校の部 総評

審査員14名でA=2点B=1点として評点を入れて審査していきますが、特段に優れて全員がAを入れれば28点になるわけですが、今年度は最高点が18点と言う結果に表れているように評価が割れ、同点も含めて10点差の中に20作品くらいが入るといった拮抗した内容でした。

従って総評でも述べているように要項違反は大変損をいたします。この競技設計では減点で済みますが、社会での不注意やルール違反は仕事の上でも致命傷になりかねません。この程度の拘束は容易に遵守する中で自由に発想出来るようであればなりません。

— 高等学校の部 —

大津 結花(有明工業高等専門学校 3年)



かつて道路で遊んでいたことから、道路事情の変化によって変質した遊びを室内化したもので、コンセプトの組み立て、表題、建築表現、1枚のパネルの仕上がりどれをとっても秀逸で力強い表現です。立面に見る窓の取り方等もプロ並みです。



この度はこのような賞をいただけて、とても嬉しく思います。この機会を下さった協会の方々、先生方に感謝いたします。

作成を通じて、与えられたテーマに対する自分の答えを、図面1枚で人に伝えることの難しさを痛感しました。途中行き詰まることもありましたが、多くの気づきを得る良い経験となりました。

今後も励んでまいります。

知事賞

前田優一(麻生建築&デザイン専門学校 2年)



講評

前田君は昨年「日韓が交流する島の相席広場」で建築士会会長賞でしたが今年は見事知事賞に輝きました。表題もコンセプトも建築表現もパネルの完成度もすべて素晴らしい。1年間でよくここまで勉強し上達したかという出来です。方舟が漂着されたとするアララト山を見立てた公衆トイレを歩道を挟んでとり、ブリッジや地下で結ぶなどストーリー性もあります。楕円の本体への入り方も磯崎新設計の奈良 100年記念ホールの入り方を彷彿とさせます。楕円と屋根上天蓋が船と帆のメタファー的表現で極めて建築家的手法で優れています。敷地写真や敷地案内図等すべてに手抜きがなく神経が行き届いています。

受賞者コメント

この度は名誉ある賞を頂き、有難う御座います。設計競技を開催していただいた主催者様、熱心にご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。

作品の敷地として選んだ博多区山王公園は、私が普段から利用している好きな場所で、笑顔で走り回る子供達をイメージしながら夢中になって設計しました。

この設計競技を通して沢山の学びがありましたので、今後に活かしていきたいと思っています。

麻生建築&デザイン専門学校 2年 前田優一



2

建築士事務所キャンペーン2022 開催報告

■日 時 令和4年11月15日（火） 12:30～17:00

■会 場 福岡県弁護士会館 大ホール
福岡市中央区六本松4-2-5 （参加無料）

■主 催 一般社団法人 福岡県建築士事務所協会

■共 催 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

《第一部 基調講演》12:30～13:55（来場者 76名）
「建築の骨格とは何か」

講師 古森 弘一 氏

（株）古森弘一建築設計事務所 代表取締役

《福岡県弁護士会館内覧会》13:55～14:25

《第二部 福岡県内高等学校生並びに専門学校生による
建築設計競技表彰式・作品講評会》
14:30～17:00（来場者 96名）

課題 高校生の部

『子育て空間の豊かな住まいの計画』

専門学校生の部

『広く遊びを誘発する地域施設—子育て支援センター—』

※受賞作品は11月15日（火）に福岡県弁護士会館に展示、1月16日（月）～1月20日（金）まで福岡市役所1階多目的スペースに展示いたしました。

◎ 懇親会（参加者 32名）

■日 時 令和4年11月15日（火）18:30～20:00

■会 場 レッドフランマ 福岡市中央区天神2-2-43 ソラリア西鉄ホテル17階



～ 記 ～

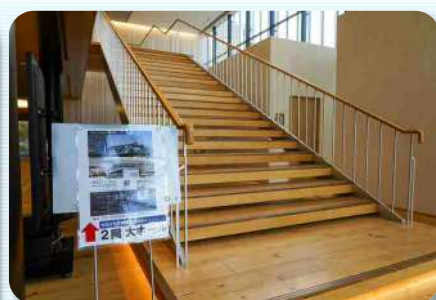
当協会では法廷団体としての建築士事務所協会・日事連の役割及び会員である建築士事務所の業務の周知を図るとともに、その時々々の社会情勢における設計・管理に関連する幅広い情報を広報するために、県内各支部・地域会持ち回りでキャンペーンを実施しております。今年度は福岡地域会担当により、新型コロナウイルス感染対策を十分に行い実施いたしました。

イベントとしては例年通り、基調講演、学生コンペ表彰式・展示会を実施し今回は青年部会会員を中心に企画、運営を行い、青年部会会員の熱意と努力により盛会に終了いたしました。

今回の会場は福岡県弁護士会様のご厚意により、基調講演講師の古森弘一先生が2015年にプロポーズにより最優秀賞を受賞され、普段一般の方がお借りすることができない福岡県弁護士会館での実施となり示唆に富んだものとなりました。

基調講演では古森弘一先生に「建築の骨格とは何か」ー架構と境界による設計手法ーをテーマにご講演いただき、基調講演終了後にはご自身が設計された福岡県弁護士会館の解説付きの内覧会を実施し貴重な機会を得ることができました。

来年度は北九州支部担当で実施予定であり、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



会議のご報告

令和4年度 第7回常任理事会報告

日 時 令和4年10月11日（火）13：30～14：45

会 場 舞鶴DSビルなごみA会議室、Web会議併用 **出席者** 会長、副会長、常任理事、支部長、事務局14名参加

議 題

1. 協議事項

- 〔 1 〕第3回理事会の進行、説明担当者、議題の確認
- 〔 2 〕中間監査開催日程について
- 〔 3 〕九州・沖縄ブロック協議会令和4年度第1回会長会議の開催について
- 〔 4 〕九州・沖縄設計4団体懇談会の開催日程等について
- 〔 5 〕福岡建築倶楽部BIM推進協議会の開催日程等について
- 〔 6 〕日事連創立記念表彰候補者の推薦について
- 〔 7 〕CPD研修・公民連携によるまちづくりセミナー開催について
- 〔 8 〕その他

2. その他

- 〔 1 〕次回会議等日程
- 〔 2 〕その他

令和4年度 第3回理事会報告

日 時 令和4年10月11日（火）15:00～16:30

会 場 舞鶴DSビルなごみA会議室、Web会議併用

出席者	理事会構成者数及び出席者数	理事会構成者数	40名
		出席者数	34名

題 議

1. 審議事項

- [1]新入会員の承認、退会会員、会員資格喪失会員の報告
■ [2]その他

2. 協議事項

- 〔 1 〕令和4・5年度委員会委員について
- 〔 2 〕令和4年度建築士事務所キャンペーンについて
- 〔 3 〕和みの会対象者への記念品贈呈について
- 〔 4 〕その他

3. 報告事項

■〔1〕県本部関係報告

- ① 令和4年度日事連建築賞60周年記念賞受賞者について
- ② 日事連年次功労者表彰受賞者について
- ③ 第44回建築士事務所全国大会(熊本大会)参加報告
- ④ 青年話創会2022熊本大会参加報告
- ⑤ 女性交流会熊本大会参加報告
- ⑥ 単位会組織強化支援事業「土業経営者のための事業承継セミナーと相談会」開催について
- ⑦ 講習会、研修会関係実施報告、実施計画について
 - ・省エネ講習会開催報告
 - ・法定講習(建築士定期講習・管理建築士講習)実施報告・実施計画について
 - ・令和4年度適合証明技術者登録受付・講習会の実施について
 - ・既存住宅状況調査技術者講習(新規・更新)実施報告・実施計画について
 - ・CPD研修会開催について
- ⑧ バーベキュー大会開催報告
- ⑨ メールマガジン「建築福岡Quarterly」への寄稿のお願い
- ⑩ マロニエBIM設計コンペティション2022開催について
- ⑪ 福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
- ⑫ 年間スケジュール
- ⑬ その他

■〔2〕支部・地域会報告

- ・北九州支部、筑豊支部、福岡地域会、県南支部

■〔3〕日事連九州・沖縄ブロック協議会関係報告

- ① 日事連9月常任理事会開催報告
- ② 事務所登録電子化対応WG開催報告
- ③ BIMと情報環境WG開催報告

■〔4〕その他

4. その他

■〔1〕相談役及び監事講評

■〔2〕次回会議等日程

■〔3〕その他

令和4年度 第8回常任理事会報告

日 時 令和4年11月8日（火）15:00～17:00

会 場 舞鶴DSビルなごみA会議室、Web会議併用

出席者 会長、副会長、常任理事、事務局13名参加

議 題

1. 協議事項

- 〔1〕入会申込書、退会届、変更届への押印、署名について
- 〔2〕令和4年度建築士事務所キャンペーン最終確認
- 〔3〕今後の予定について
 - ① 令和5年度通常総会日程、会場
 - ② 令和5年度建築士事務所キャンペーン開催について
 - ③ 令和4年度新入会員オリエンテーション開催について
 - ④ 令和4年度研修ツアー開催について
- 〔4〕福岡建築倶楽部BIM推進協議会通常総会、システム部会、技術部会、実務部会提案議題、参加者、進行について
- 〔5〕令和4年度第1回九州・沖縄ブロック協議会会長会議福岡会からの提案議題、参加者について
- 〔6〕令和4年度単位会組織強化支援事業「士業経営者のための事業承継セミナー」開催報告、開催計画について
- 〔7〕適合証明業務登録制度に係る収支改善提案についての意見提出について
- 〔8〕CPD研修・公民連携／PFIと建築セミナー開催について
- 〔9〕令和4年度の被災度区分判定基準および復旧技術指針講習会開催について
- 〔10〕令和4年度特定建築物定期調査業務「スキルアップ講習」について
- 〔11〕マロニエBIM設計コンペティション2022inみやぎ開催について
- 〔12〕会誌「日事連」令和5年1月号掲載予定「新年の抱負」執筆者選定について
- 〔13〕公共工事における建築設計業務の適正な発注と品質確保研修会の講師について
- 〔14〕「COFI 中・大規模木造建築設計セミナー」後援名義の使用許可申請について
- 〔15〕「第3回九州木質建物構造展」後援名義の使用許可申請について
- 〔16〕福岡専団連第12回被災者支援制度研究会参加について
- 〔17〕戸建て住宅の省エネ化に関するアンケート調査ご協力をお願いについて【福岡県建築住宅センター】
- 〔18〕職員冬季賞与について
- 〔19〕その他

2. 報告事項

- 〔1〕各委員会、部会開催報告
- 〔2〕事務所登録等事務に関するアンケート調査の実施について
- 〔3〕法定講習（建築士定期講習・管理建築士講習）実施計画・報告について
- 〔4〕令和4年度「適合証明技術者」登録・業務講習受付報告について
- 〔5〕令和4年度 既存住宅状況調査技術者オンライン講習【更新講習】実施計画・報告について
- 〔6〕福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
- 〔7〕日事連関係報告
- 〔8〕その他

3. その他

- 〔1〕次回会議等日程
- 〔2〕その他

令和4年度 第9回常任理事会報告

日 時 令和4年12月13日(火) 13:30～14:45

会 場 舞鶴DSビルなごみA会議室、Web会議併用

出席者 会長、副会長、常任理事、支部長、事務局16名参加

議 題

1. 協議事項

- 〔1〕第4回理事会の進行、説明担当者、議題の確認
- 〔2〕令和5年行政、関係団体新年挨拶廻りの実施について
- 〔3〕令和5年秋の叙勲・褒章及び建設事業関係功労者表彰候補者の推薦について
- 〔4〕適格請求書発行事業者の登録申請について
- 〔5〕建築BIM加速化事業(令和4年度第二次補正予算)について
- 〔6〕令和4年度日事政研寄附金等の納入について
- 〔7〕福岡地域会、北九州支部賛助会会員(株)建築資料研究社・日建学院との特別学費適用についての
覚書締結について
- 〔8〕業界新聞令和5年新春特集号広告協賛のお願いについて
- 〔9〕一般からの広告広報について
- 〔10〕会員への写真撮影業務報酬のお支払いについて
- 〔11〕事務局冬季休暇について
- 〔12〕その他

2. その他

- 〔1〕次回会議等日程
- 〔2〕その他

令和4年度 第4回理事会報告

日 時 令和4年12月13日(火) 15:00～17:00

会 場 舞鶴DSビルなごみA会議室、Web会議併用

出席者	理事会構成者数及び出席者数	理事会構成者数	40名
		出席者数	36名

議 題

1. 審議事項

- 〔1〕新入会員の承認、退会会員の報告
- 〔2〕その他

2. 協議事項

- 〔1〕令和4年度上半期会務・事業報告
- 〔2〕令和4年度上半期収支報告
- 〔3〕令和4年度中間監査報告
- 〔4〕令和5年度建築士事務所キャンペーン開催について
- 〔5〕その他

2. 報告事項

■〔1〕県本部関係報告

- ① 創立記念表彰(単位会事務局職員永年勤続表彰)の受賞者について
- ② 令和5年度通常総会日程、会場について
- ③ 令和4年度建築士事務所キャンペーン開催結果報告
- ④ 令和4年度単位会組織強化支援事業「土業経営者のための事業承継セミナー」開催報告
- ⑤ 福岡建築倶楽部BIM推進協議会総会、システム部会、技術部会、実務部会開催報告
- ⑥ マロニエBIM設計コンペティション2022inみやぎ開催報告
- ⑦ 公共工事における建築設計業務の適正な発注と品質確保について研修会講師報告
- ⑧ 各委員会、部会開催報告
- ⑨ 講習会、研修会関係実施報告、実施計画について
 - ・法定講習(建築士定期講習・管理建築士講習)実施計画・報告について
 - ・令和4年度「被災度区分判定基準および復旧技術指針講習会」開催について
 - ・令和4年度「適合証明技術者」登録・業務講習受付報告
 - ・令和4年度「既存住宅状況調査技術者オンライン講習」実施計画・報告について
 - ・CPD研修・公民連携／PFIと建築セミナー開催報告
- ⑩ メールマガジン「建築福岡Quarterly」への寄稿のお願い
- ⑪ 福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
- ⑫ 年間スケジュール
- ⑬ その他

■〔2〕支部・地域会報告

- ・北九州支部、筑豊支部、福岡地域会、県南支部

■〔3〕日事連九州・沖縄ブロック協議会関係報告

- ① 令和4年度九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議開催報告

■〔4〕日事連関係報告

- ① 日事連12月通常理事会開催報告

■〔5〕その他

3. その他

■〔1〕相談役及び監事講評

■〔2〕次回会議等日程

■〔3〕その他

◆ 日 時

令和4年12月5日（月） 14:00～17:50

◆ 会 場

舞鶴DSビル なごみA会議室、WEB会議併用

◆ 出席者

福岡会11名、佐賀会2名、長崎会1名、熊本会5名、大分会3名、
宮崎会1名、鹿児島会2名、沖縄会5名

◆ 議 事

1. 開会

2. 九州・沖縄ブロック協議会 会長挨拶

3. 協議事項

① 各単位会提出協議事項

- ・ネットワークについて……………【佐賀会】
- ・ICT/DX活用状況について……………【長崎会】
- ・改修設計・監理業務の業務内容及び人工数の明確化について……………【熊本会】
- ・監理業務の設計者への発注状況について……………【熊本会】
- ・入札時における最低制限価格について……………【鹿児島会】
- 九州・沖縄ブロックにおける最低制限価格の情報共有について ……【熊本会】
- ・事務所登録電子化に伴う手数料の改定について……………【大分会】
- ・各種申請手数料について……………【大分会】
- ・建築士に求められる新たな業務（仕事）……………【沖縄会】
- ・ブロック協議会における青年部会協議会参加費の負担について…【福岡会】
- ・BIMの現状についての途中経過と事例紹介……………【福岡会】
- ・CMの現状についての説明について……………【福岡会】

② 第138回建築士事務所協会全国会長会議（12月14日開催）
におけるブロック協議会代表者発言者選定の件

③ 第2回会長会議・事務局会議の開催日程

④ その他

4. 閉会

- ◆ 日 時 令和4年12月12日（月）14:00～14:50
 ◆ 会 場 舞鶴D Sビル なごみA会議室、WEB会議併用

◇システム部会

- 出席者 (公社)福岡県建築士会福岡地域会 (一社)福岡県建築士事務所協会
 (一社)日本建築学会九州支部福岡支所 (公社)日本建築家協会九州支部福岡地域会
 (一社)日本建築構造技術者協会九州支部 (公社)日本建築積算協会九州支部
 (一社)日本コンストラクション・マネジメント協会九州支部
- 次 第
1. 開会
 2. あいさつ
 3. 委員の紹介
 4. 前回議事録の確認
 5. 議事
 - (1) 役員選出 会長（1名）・副会長（2名）、部会長（1名）、副部会長（2名）
 - (2) 過去1年間の活動報告
 - (3) 今後1年間の活動計画
 6. 報告事項
 7. その他
 8. 閉会

◇技術部会

- 出席者 (公社)福岡県建築士会福岡地域会 (一社)福岡県建築士事務所協会
 (一社)日本建築学会九州支部福岡支所 (公社)日本建築家協会九州支部福岡地域会
 (一社)日本建築構造技術者協会九州支部 (公社)日本建築積算協会九州支部
 (一社)日本コンストラクション・マネジメント協会九州支部
- 次 第
1. 開会
 2. あいさつ
 3. 委員の紹介
 4. 前回議事録の確認
 5. 議事
 - (1) 過去1年間の活動報告
 - (2) 今後1年間の活動計画案
 6. 報告事項
 - (1) B I Mの設計事例の報告
 7. その他
 8. 閉会

◇実務部会

- 出席者 (公社)福岡県建築士会福岡地域会 (一社)福岡県建築士事務所協会
 (一社)日本建築学会九州支部福岡支所 (公社)日本建築家協会九州支部福岡地域会
 (一社)日本建築構造技術者協会九州支部 (公社)日本建築積算協会九州支部
 (一社)日本コンストラクション・マネジメント協会九州支部
- 次 第
1. 開会
 2. あいさつ
 3. 委員の紹介
 4. 前回議事録の確認
 5. 議事
 - (1) 過去1年間の活動報告
 - (2) 今後1年間の活動計画
 - (3) 意匠・構造・設備の各B I Mデータを統合してデータ活用の可能性を探る
 6. 報告事項
 - (1) B I Mの設計事例の報告
 7. その他
 8. 閉会

令和4年度日事連建築賞 60周年記念賞(小規模建築部門) 受賞報告

● みんなの診療所 【(株)松山建築設計室(福岡地域会)】

医療過疎が進行している奄美大島で、長年救急医療を担ってきた若い医師が1人で、かかりつけ医として役割を果たすべく開設した島の診療所である。通常の受付、待合ということではなく、看護のスタッフが患者と同じ目線で交す家庭的な医療、そしてそこに人の付き合いが生まれるような平面計画と細部のデザインは工夫されている。気候風土を熟知して、長年にわたって地方の技術者を育て、それを最大限に動員して、ローコストで、比例構成といい、ディテールに対する配慮といい、美的にも格調のある素晴らしい建築を創り上げている。シンプルな大屋根は、背景の山や島の民家群とも見事に調和し、長持ちしそうなタフネスを備え、設計者の見識を感じさせる。地域医療の拠点であるが、離島の宝石のような建築である。

〔審査講評より〕



年次功労者表彰受賞者の報告

● 中野 寛 氏 【(資)中野商会(県南支部) 会務代表者】

当協会の運営並びに事業の実施に関して著しい功績を挙げ、日事連の発展に寄与された功績により、令和4年度年次功労者表彰を受賞されましたのでご報告いたします。

単位会事務局職員永年勤続表彰受賞者の報告

● 上杉 尚子 職員

単位会の職員として10年以上勤続し、著しい功労のあった功績により、単位会事務局職員永年勤続表彰を受賞されましたのでご報告いたします。

北九州支部からのお知らせ

令和4年度 第5回 定例幹事会議事録

日 時 令和4年11月10日(木) 18:00～19:00

場 所 西小倉市民センター

参 加 者 金子、高尾、豊川、藤本、山口、大江、大川、久松、川野、望月、林、香月

◆ 議 題(協議事項・審議事項)

1.令和4年度児童絵画展の報告と今後について

- ・42校945点の応募をいただき、60名の児童に賞を授与させていただきました。
- ・昨年を超える応募をいただき大変うれしいところですが、今年も赤字となりました…参加賞があるため、参加者が増えれば増えるほど出費が重なります。

〈反省点など〉

- ・参加賞 今年は25万円程度の出費。
参加賞の品物の検討もあるが、まずは県本部に助成金をいただくようお願いする。
- ・審査方法 体育館は広くて良かった。審査のときに机が欲しい。
- ・表彰式 マイクチェックでマイクを叩かない。
- ・写真撮影を事前に周知する。
- ・来賓の机の配置が悪い。JIA塩釜会長が袖幕に隠れた。
- ・支部長・副支部長の挨拶の内容が被らない様すり合わせる事。
各々の挨拶の時間を確認すること。
- ・開始時間が遅れた。
- ・登壇の説明は、事前に会員が行うこと。
- ・表彰のときのステージマイクは、
スクリーン側に置くこと。
子供の前にマイクが来て写真の邪魔をする。
- ・冠賞の席の紙は、椅子の座る側に貼る。
- ・来場者には冠賞の意味が分からないので、司会はそれぞれの賞の名前を呼ぶこと。
- ・リハーサルがしたい。
- ・賞状お盆持ちはかなりしんどい。
2人体制、2盆体制で行いたい。
- ・お茶を準備する。



2.建築キャンペーン

11/15（火） 福岡県弁護士会館にて、建築キャンペーンを行う。
令和5 年は北九州支部で開催する。開催時期は11 月頃。
児童絵画展とセットで行うことになるため、開催規模や会場など早く会議を行うこと。

3.忘年例会について

12/1 18：30～ 千草ホテル
参加者 33 名（11/1 時点）
八幡駅からマイクロバスの送迎があります。
2 次会 カフェカウサ 北九州市小倉北区浅野2-12-14

4.新規賛助会入会申し込み

(株)ナガワ 賛助会員入会承認されました。

◆ 報告事項

令和4 年9 月30 日～10 月1 日 全国大会熊本
令和4 年10 月6 日（木） 児童絵画展審査会
令和4 年10 月7 日（金） 建築キャンペーン打合せ（Web）
令和4 年10 月11 日（火） 常任理事会・理事会、早田氏黄綬褒章記念祝賀会
令和4 年10 月20 日（木） 北九州建築六団体賀詞交歓会打合せ クラウンパレス小倉
令和4 年10 月21 日（金） 県本部事業委員会（Web）、北九州支部臨時幹事会（Web）
令和4 年10 月25 日（火） 青年部会久留米
令和4 年10 月29 日（土） 児童絵画展表彰式

◆ 情報共有・自由討議

・住宅相談
かかってきた電話のみ無料相談対応する。
無料相談のため、事務局からわざわざ折り返しの電話まではしない方針（県本部と同じ）。

◆ 次回予定

令和4 年12 月1 日（木） 18 時30 分 忘年例会 千草ホテル

福岡地域会からのお知らせ

賛助会主催 研修バスツアーのご報告

- 日 時 令和4年10月27日（木） 9：10～17：30
- 集合場所 博多駅筑紫口 ローソン前
（集合9：10 / 出発9：30 / 解散17：30）
- コース 博多駅（筑紫口）→ 古賀SA→ 若松南海岸（通称：若松バンド）散策
→昼食・懇親会(料亭 金鍋)→ 北九州エコタウン見学→ 古賀SA
→博多駅（筑紫口）

3年ぶりの開催となる今回のバスツアーは、北九州方面の見学を中心に企画致しました。北九州市の若松南海岸にて旧古河鉱業若松ビルなど炭鉱で栄えた時代の建築物の見学と、北九州エコタウンセンターにて自動車リサイクルや風力発電所についての研修を行いました。正会員・賛助会員あわせて24名の方にご参加頂き、大変充実した一日となりました。



県南支部からのお知らせ

令和4年度 賛助会員との懇親会

県南支部において、広報・渉外委員会の担当による、3年振りとなる賛助会員との懇親会を1月13日、久留米翠香園ホテルに於いて感染対策に配慮し開催されました。会員31名、賛助会員18社23名の総勢54名となる多数の参加を頂きました。

横溝支部長より年頭の挨拶において、本年度の県南支部の活動に対する抱負が語られると共に、残す任期1年に益々活動を活発化させるとの意気込みが述べられました。年明け間もない時期の開催とあって賑やかな雰囲気の中、設計業務において日頃から協力頂いている賛助会員の皆様と活発な意見が交わされました。

また、新規入会者の紹介等もあり、会員相互の親睦も深められ大変有意義な会となりました。

県南支部 常任幹事 木村 昭文



支部長あいさつ



乾杯：中山副会長



賛助会員あいさつ



歓談の様子

8

会 員 動 静

新入会員のご紹介

事務所名 ICOMS(株) 一級建築士事務所

福岡地域会に入会されました

■会務代表者：田中 貴浩

■所在地：福岡市中央区白金

事務所名 (株)タカノホーム

福岡地域会に入会されました

■会務代表者：鷹野 耕治

■所在地：福岡市南区屋形原

事務所名 (株)豊福構造設計 一級建築士事務所

福岡地域会に入会されました

■会務代表者：豊福 和代

■所在地：福岡市城南区樋井川

事務所名 ゆう建設コンサルタント 一級建築士事務所

県南支部に入会されました

■会務代表者：山口 勇二

■所在地：久留米市天神町



常任理事 鷺海 達矢 さん

ラグビー日本代表を応援しよう！ 2023年はワールドカップイヤー

昨年2022年の秋は日本代表の活躍もあり、サッカーW杯で日本中が大いに盛り上がりました。今年2023年の秋にはラグビーのW杯が行われます。ラグビーは選手の人数が多い・ルールが複雑で分かりにくいなどの理由で長年マイナースポーツとされてきましたが、2019年に日本で開催されたラグビーW杯において日本代表が初の予選プール突破・8強入りを果たしたことで、日本中にラグビーブームを巻き起こしました。チームスローガンである「ONE TEAM」や「にわかファン」が流行語になったことは記憶に新しいところです。それから4年が経ち、今年のW杯で「ジェイミー・ジャパン」は前大会以上の成績(4強入り)を目指しています。ヘッドコーチ(以下HC)は前回同様、ニュージーランド出身のジェイミー・ジョセフが勤めています。

私自身のラグビーとの関わりですが、小学5年生のときに少年ラグビーチームでラグビーを始めて以降、高校・大学・社会人と30代半ばまでプレーを続けていました。選手としては特に優秀ではありませんでしたが、責任感や自己犠牲の精神、あきらめないことの大切さなど、今の仕事や生活に繋がる大切なことを学ぶことができました。

そんな素晴らしいスポーツであるラグビーですが、長年日本では観るスポーツというよりは、するスポーツ(ラグビー経験者が未経験者にウンチクを語る)というイメージがありましたが、流れが変わったのは2015年のW杯において日本代表が南アフリカ代表を破ってからです。この勝利は「世紀の番狂わせ」として世界中で大きく報道されました。ラグビーは(サッカーと異なり)番狂わせが起こりにくいスポーツとされ、当時「ティア2」(世界ランキング10位以下)のチームが「ティア1」(世界ランキング9位以上)のチームに勝つことは不可能と言われていました。しかし、予想に反して強豪国を破ったことで日本代表はにわかに注目を集めたのです。結果的に予選プールを3勝1敗としながら決勝トーナメントには進めませんでした。が、「五郎丸ポーズ」が大ブームになったことは皆さんご記憶のことだと思います。



以後、日本大会を経て着実に強化を進めている日本代表ですが、コロナ禍の影響もあり昨年2022年のシーズンではなかなか結果を残せず苦戦しています。しかし、この時期は新戦力をテストするなど各チームがW杯に向けて試行錯誤する時期とされ、昨秋には以前なら決して勝つことはできないと思われていたオールブラックス(ニュージーランド代表)に肉薄するなど本大会での更なる躍進が期待されているところです。本年のW杯はフランスで9月から2ヶ月間にわたって行われ、予選プールD組に属する日本代表(10位*)は、初戦でチリ(22位)、2戦目にイングランド(5位)、3戦目にサモア(11位)、最終戦でアルゼンチン(8位)と対戦します。決勝トーナメント進出のためには予選プールで3勝1敗以上の成績が必要とされ、ランキング下位のチリ・サモアへの勝利はもちろんのこと、ランキング上位のイングランド・アルゼンチンいずれかへの勝利が必要となります。イングランド(前日本代表HCの名将エディ・ジョーンズが率いていたが昨年末成績不振のため解任)には昨秋敵地で大敗していますが、知将との定評のあるジョセフHCですから金星を挙げるプランを練ってくると期待しています。

ちなみに、ラグビーの国代表には他競技と違い必ずしもその国の国籍が必要ではありません。詳細は割愛しますが、「他国での代表経験がないこと」「所定の滞在期間を満たすこと」など条件を満たせば代表となることができます(“国”の代表ではなく“協会”の代表という考え方)。そのため現在の日本代表には様々な国籍の選手がおり多様性の象徴ともなっています。2019年W杯のチームスローガン「ONE TEAM」はこうしたチームの背景に根ざすものでもあります(2023年のスローガンは「OUR TEAM」)。

最後に私が注目する選手ですが、まずはベテランのリーチ・マイケル選手(6番・フランカー)でしょうか。キャプテンを務めた2019年W杯後はコンディション不良により代表を離れた時期もありましたが、故障箇所の手術などを経て現在は代表にカムバック、好調を維持しています。もう一人はやはりベテランの堀江翔太選手(2番・フッカー)。昨秋のシーズンは代表参加を辞退したようですが、日本を代表するトータル・フットボーラーである堀江選手には「ラスボス」として試合を締めてもらいたいところです。

以上、ラグビー日本代表について簡単にご紹介しましたが、今秋のW杯では地上波での放送も多数あると思いますので「にわかファン」として気軽に観戦してみてもいかがでしょうか？細かいルールは分からずとも、世界最高のスピード・パワーそしてスキルに驚かれること受け合いです。

*世界ランキングは2023年1月16日時点

画像はすべて横浜国際総合競技場で行われた
ラグビーW杯2019日本大会準決勝の様子(鷺海撮影)





常任理事 高桑 圭輔 さん
京都・東寺塔頭観智院

年末年始に京都・奈良に行ってまいりました。
今回訪れた中で特に印象深かった観智院についてご紹介いたします。

① 櫛笥小路に面した西門

東寺(教王護国寺)の食堂(じきどう)の北側にある北大門から北総門までの参道は、櫛笥小路(くしげこうじ)といい、平安時代以来そのままの幅で残っている京都市内ただひとつの小路だそうです。その小路の東側に観智院があります。

観智院は東寺の勸学院で、収蔵する密教の聖教(しょうぎょう)は我が国最高といわれているそうです。慶長十年(1605)に再建された客殿は桃山時代の典型的な書院造りの建物で国宝に指定されています。

客殿・上の間には一時期当寺に身を寄せていた宮本武蔵筆といわれる「鷲の図」「竹林の図」があります。

② 前庭からの眺め

客殿・書院・庫裏に囲まれた中庭は四方面の庭と呼ばれ、それぞれの面から異なる趣を鑑賞できる庭となっています。

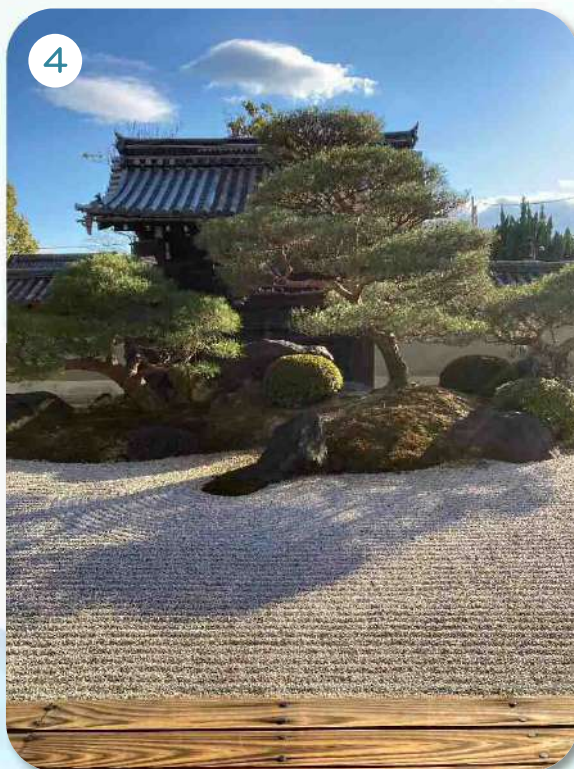
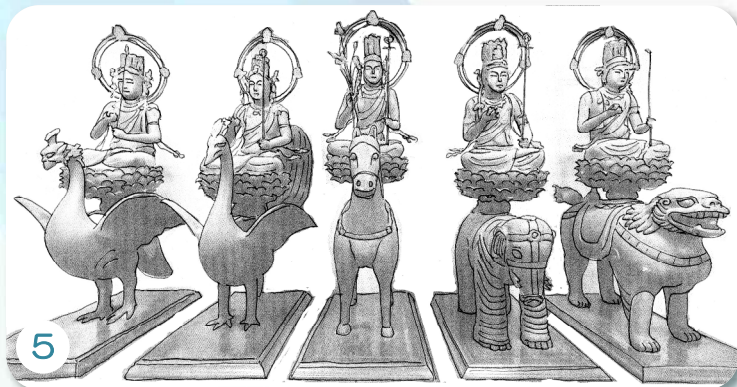
③ 四方面の庭

客殿の南面は真言宗開宗1200年記念として作庭された枯山水の庭となっており、涅槃祿 - 長者の庭 - と銘打たれています。



④ 長者の庭

本殿のご本尊は有名な五大虚空菩薩像です。
五大虚空藏菩薩像は唐からの請来像で、獅子・象・馬・孔雀・迦楼羅(かるら)の上に結跏趺坐した菩薩様のお姿が大変ユニークです。思わず戦隊ヒーローをイメージしてしまいます。
写真を撮ることができなかったのが残念です。
隣に鎮座する愛染明王象も迫力ある素晴らしい象です。



⑤ 五大虚空菩薩像

その他、床の間と襖全面に浜田泰介画伯筆の「四季の図」が描かれてた書院、楓泉観と呼ばれる書院風の茶室もあります。

⑥ 茶室から見た露地

建物・庭・仏像・絵画・茶室と見所が満載の観智院、機会があればぜひ訪ねてみてください。





理事 二田 司 さん ご近所つれづれ

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

今年の正月は外出制限がなく天気もいいので一人で初詣に出かけようと思い、西鉄白木原駅から二駅先の都府楼前駅で降り、そこから歩いて坂本八幡宮をお参りした。令和元年にあれほど話題になったが、今では人もまばらで一抹の寂しさを感じてしまった。

次に歩いて西鉄太宰府駅前ロータリーに着くと、一転溢れんばかりの人がいて、参道はすれ違うのも大変で、40分程でやっと天神様の前に辿り着いた。今年1年の願い事を済ませ来た道に戻り、都府楼前駅から帰路に着いた。年末から出かけることがなかったもので約1時間のいい運動になった。



令和元年に賑わった坂本八幡宮も正月でも人はまばらであった。



外出制限もなくなり、太宰府天満宮は以前の賑わいを取り戻しつつある

さてご近所つれづれも今回で3回目となりました。白木原駅周辺では8月末に西鉄雑餉隈～下大利間が高架運転に切り替わり駅周辺の渋滞は随分緩和された。しかし高架下ではまだまだ残工事が進められており、これが完了すれば駅周辺の環境はもっと良くなると期待している。



2022年8月高架運転開始した
白木原駅の現在の状況



開通後も高架下は残工事が進んでいる

自宅周辺では、前回自宅前の田畑に15階建てマンションが建ち、自宅横の倉庫が取り壊され賃貸マンションが建てられたところまでお伝えしたが、あれから1年数か月が経ち、今度は自宅に隣接する4階建てのアパートが取り壊され、7階建ての賃貸マンションが建設されることとなった。

今まで4階建てだったのが7階建てとなると、環境ガラッと違ってくるのではと少し気がかりではあるが、春には遺跡調査をして5月には着工予定である。次回執筆する時は7階建てマンションも竣工していることであろう。



自宅前にあった4階建ての賃貸アパートが
取り壊され更地になった状況（自宅2階より）